

STAR

ディスクビータアタッチメント

取扱説明書・部品表

製品コード K30806
型式 ADW1810
部品供給型式 ADW1810-02

規制板アタッチメント(ディスクビータ用)

製品コード K30844
型式 ARW1830

- ・部品ご注文の際は、必ず部品供給型式をご連絡下さい。
- ・補用部品の一部には、まとめ・セット販売のみの部品があります。

“必読” 機械の使用前には必ず読んでください。

スター農機株式会社





安全に作業するために

安全に関する警告について

本機には、印付きの警告ラベルを貼付しています。安全上、特に重要な項目を示しています。警告を守り、安全な作業を行ってください。

警告ラベルについて

▲ 危険

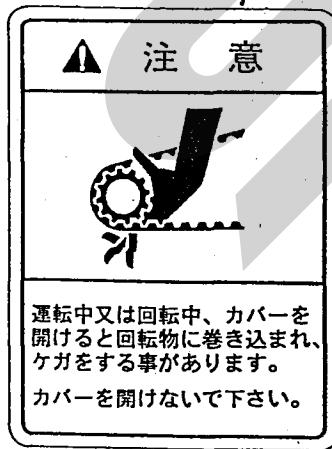
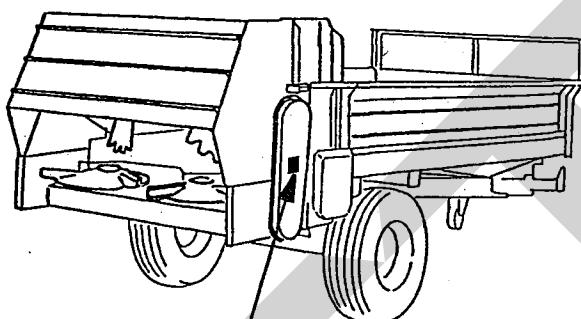
その警告に従わなかった場合、死亡または重傷を負う危険性が高いことを示します。

▲ 警告

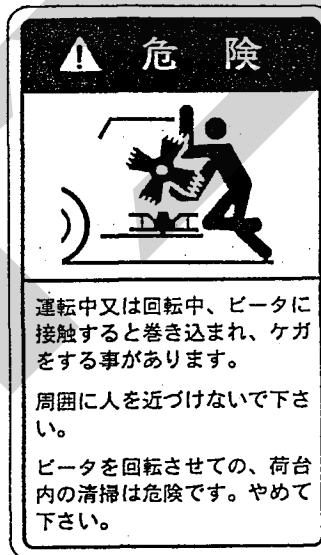
その警告に従わなかった場合、死亡または重傷を負う可能性があることを示します。

▲ 注意

その警告に従わなかった場合、ケガを負うおそれがあることを示します。



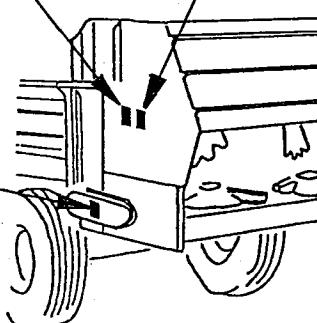
部品番号 106171



部品番号 106244



部品番号 106246



— ラベルが損傷した時は —

警告ラベルは、使用者および周囲の作業者などへ危険を知らせる大事なものです。

ラベルが損傷した時は、すみやかに貼り替えてください。

注文の際には、この図に示す 部品番号 をお知らせください。

安全操作上の注意点

ここに記載されている注意事項を守らないと、死亡を含む傷害を生じる恐れがあります。

作業前には、作業機およびトラクタの取扱説明書をよくお読みになり、十分に理解をしてからご使用ください。

作業前に

取扱説明書は製品に近接して保存を

▲ 注意

- 機械の取り扱いで分からぬ事があった時、取扱説明書を製品に近接して保存していないため、自分の判断だけで対処すると思わぬ事故を起こし、ケガをする事があります。
取扱説明書は分からぬ事があった時にすぐに取り出せるよう、製品に近接して保存してください。

取扱説明書をよく読んで作業を

▲ 注意

- 取扱説明書に記載されている安全上の注意事項や取扱要領の不十分な理解のまま作業すると、思わぬ事故を起こす事があります。
作業を始める時は、製品に貼付している警告ラベル、取扱説明書に記載されている安全上の注意事項、取扱要領を十分に理解してから行ってください。

こんな時は運転しないでください

▲ 警告

- 体調が悪い時、機械操作に不慣れな場合などに運転すると、思わぬ事故を起こす事があります。次の場合は、運転しないでください。
 - 過労、病気、薬物の影響、その他の理由により作業に集中できない時。
 - 酒を飲んだ時。
 - 機械操作が未熟な人。
 - 妊娠している時。

服装は作業に適していますか

▲ 警告

- 作業に適さない服装で機械を操作すると、衣服の一部が機械に巻き込まれ、死亡を含む傷害をまねく事があります。
次に示す服装で作業してください。

- 袖や裾は、だぶつきのないものを着用する。

- ズボンや上着は、だぶつきのないものを着用する。
- ヘルメットを着用する。
- はちまき、首巻きタオル、腰タオルなどはしない。

機械を他人に貸す時は

▲ 警告

- 機械を他人に貸す時、取扱説明書に記載されている安全上の注意事項や取扱要領が分からぬため、思わぬ事故を起こす事があります。
取扱い方法をよく説明し、取扱説明書を渡して使用前にはよく読むように指導してください。

機械の改造禁止

▲ 注意

- 機械の改造や、当社指定以外のアタッチメント・部品などを取り付けて運転すると、機械の破損や傷害事故をまねく事があります。
機械の改造はしないでください。
アタッチメントは、当社指定製品を使用してください。
部品交換する時は、当社が指定するものを使用してください。

始業点検の励行

▲ 注意

- 始業点検を怠ると、機械の破損や傷害事故をまねく事があります。
作業を始める前には、取扱説明書に基づき点検を行ってください。

アタッチメントを着脱する時は

▲ 警告

- アタッチメントを装着する時、トラクタのエンジンをとめずに行うと、第三者の不注意により、不意にトラクタが動いたりして、事故を起こす事があります。
エンジンをとめて、マニュアボディの車輪に輪止めをして行ってください。

荷物を積載する時は

▲ 注意

- 過積載あるいは片荷積載をすると、旋回時や傾斜地での作業時、作業機が転倒し、ケガをする事があります。
指定された積載量あるいは積載高さ以上の積載はしないでください。
ほぼ平坦になるように積載してください。

作業中は

作業する時は

▲ 危険

- 運転中又は回転中、ピータに接触すると巻き込まれ、ケガをする事があります。
周囲に人を近づけないでください。
- 堆肥や鶏糞の中に、石や木片、氷塊などが混入していると、ピータにより飛散し運転者や周囲の人がケガをする事があります。
混入しないようにしてください。
- 運転中又は回転中、ピータによる飛散物によりケガをする事があります。
周囲に人を近づけないでください。

▲ 警告

- 作業をする時、周囲に人を近づけると、機械に巻き込まれ、ケガをする事があります。
周囲に人を近づけないでください。
- 作業機指定のPTO回転数を超えて作業すると、機械の破損により、ケガをする事があります。
指定回転数を守ってください。
- 作業機の上に人を乗せると、転落し、思わぬ事故をまねく事があります。
作業機の上には、人を乗せないでください。

▲ 注意

- 運転中又は回転中、カバーを開けると回転物に巻き込まれ、ケガをする事があります。
カバーを開けないでください。
- 機械の調整や、付着物の除去などを行う時、PTOおよびエンジンをとめずに作業すると、第三者の不注意により、不意に作業機が駆動され、思わぬ事故を起こす事があります。
PTOを切り、エンジンをとめ、回転部や可動部がとまっている事を確かめて行ってください。

終業点検の励行

▲ 注意

- 作業後の点検を怠ると、作業機の調整不良や破損などが放置され、次の作業時にトラブルを起こしたり、ケガをする事があります。
作業が終わったら、取扱説明書に基づき点検を行ってください。

不調処置・点検・整備をする時

▲ 注意

- 機械に異常が生じた時、そのまま放置すると、破損やケガをする事があります。
取扱説明書に基づき行ってください。
- PTOおよびエンジンをとめずに作業すると、第三者の不注意により、不意に作業機が駆動され、思わぬ事故を起こす事があります。
PTOを切り、エンジンをとめ、回転部や可動部がとまっている事を確かめて行ってください。
- 不調処置・点検・整備のために外したカバー類を取り付けずに作業すると、回転部や可動部に巻き込まれ、ケガをする事があります。
元通りに取り付けてください。

作業が終ったら

機体を清掃する時は

▲ 危険

- 運転中又は回転中、ピータに接触すると、巻き込まれ、ケガをする事があります。
ピータを回転させての、荷台内の清掃は危険です。やめてください。

▲ 注意

- 動力を切らずに、回転部・可動部の付着物の除去作業などを行うと、機械に巻き込まれてケガをする事があります。
PTOを切り、エンジンをとめ、回転部や可動部がとまっている事を確かめて行ってください。

もくじ



安全に作業するため

安全に関する警告について	1	作業が終わったら	3
作業前に	2	不調処置・点検・整備をする時	3
作業中は	3		

1

マニュアボディへの装着

1 各部の名称とはたらき	6	3 ディスクビータ	
2 適応トラクタの範囲	7	アタッチメントの組立・装着	7
		4 規制板	
		アタッチメントの組立・装着	7

2

運転を始める前の点検

1 運転前の点検	8	2 エンジン始動での点検	8
1. ディスクビータアタッチメントの点検	8	1. 駆動系統の点検	8
2. マニュアボディの点検	8	2. マニュアボディの点検	8
		3 給油箇所一覧表	8

3

作業の仕方

1 本アタッチメントの使用目的	9	2. 堆肥・鶏糞の積み込み方	9
2 床コンベヤ変速段と散布量	9	3. 敷布作業の仕方	10
3 作業要領	9	4. 敷布巾の調節	10
1. PTO回転数	9	5. 規制板アタッチメント	10

4 作業が終わったら

1 作業後の手入れ 11 2 長期格納する時 11

5 点検と整備について

1 点検整備一覧表 12 2 各部の調整 12

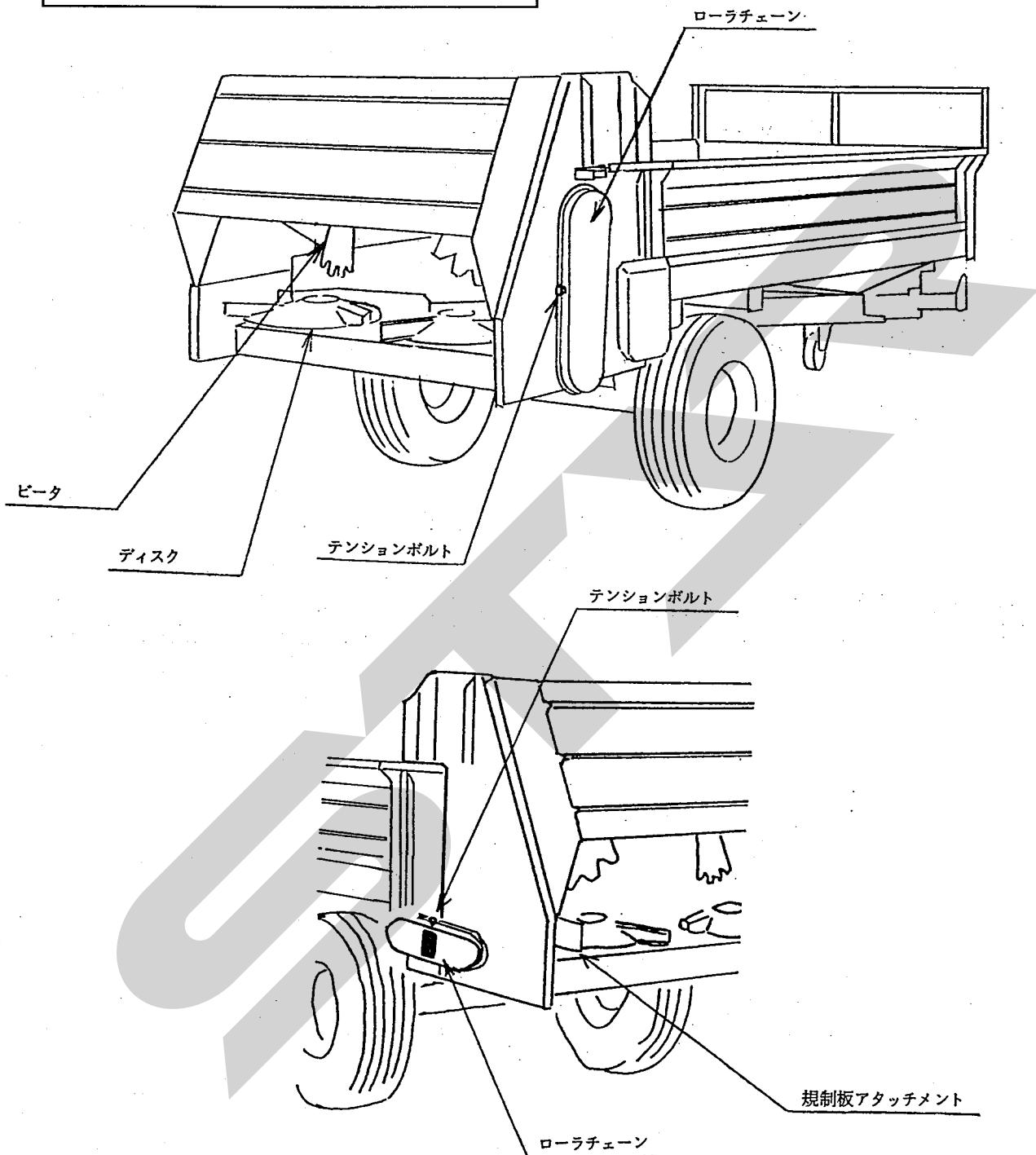
6 不調時の対応

1 不調処置一覧表 13

7 部品表 14

1 マニュアルボディへの装着

1 各部の名称とはたらき



1. テンションボルト

このボルトを回して、チェーンのテンション調整をします。

2. ディスク

堆肥をくだきながら散布します。

3. ビータ

積載された堆肥をならし、ディスクに定量供給します。

4. ローラーチェーン

作業機本体からアタッチメントへの動力を伝達します。

5. 規制板アタッチメント(オプション)

堆肥がハウスのポールや果樹園の枝に飛散するのを防ぎます。

2 適応トラクタの範囲

本製品は、適切なトラクタとの装着により的確に性能を發揮できるように設計されています。

不適切なトラクタとの装着によっては本製品の耐久性に著しく影響を及ぼしたり、トラクタの運転操作に著しい悪影響を及ぼすことがあります。

この製品の適応トラクタ馬力と最大積載量は次のとおりです。

型 式	適応トラクタ	最大積載量
TMS1160 + ADW1810	11~26kW (15~35PS)	1, 100kg
TMS1170 + ADW1810	15~29. 5kW (20~40PS)	
TMS1560 + ADW1810	15~29. 5kW (20~40PS)	1, 500kg
TMS1570 + ADW1810	18~37kW (25~50PS)	
TMS1860 + ADW1810	18~37kW (25~50PS)	1, 800kg
TMS1870 + ADW1810	22~37kW (30~50PS)	
TMS2060 + ADW1810	22~37kW (30~50PS)	2, 000kg
TMS2070 + ADW1810	26~37kW (35~50PS)	

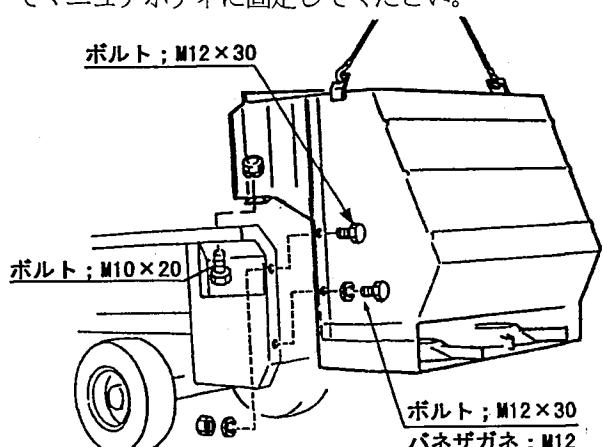
3 ディスクビータアタッチメントの組立・装着

▲ 警告

- アタッチメントを装着する時、トラクタのエンジンをとめずに行うと、第三者の不注意により、不意にトラクタが動いたりして、事故を起こすことがあります。エンジンをとめて、作業機の車輪に輪止めをして行ってください。

木枠に固定している部品をほどき、同梱の梱包明細に基づき、必要部品が揃っているか確認してください。

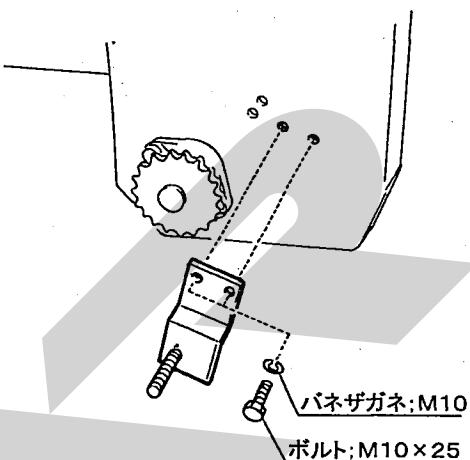
- ビータ・フレームをフロントローダ等で吊り上げ、マニュアボディに乗せ、ビータ・フレームをボルトでマニュアボディに固定してください。



- プラケットをマニュアボディとフレームに、取り付けてください。

プラケットはディスクビータアタッチメントに付属している部品を使用してください。

マニュアボディに付属しているプラケットは他のアタッチメントに使用しますので大切に保管してください。

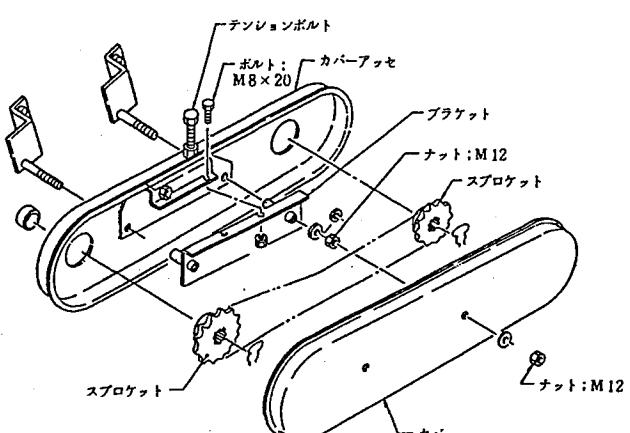


- カバーをボルトに通し、スプロケットにチーンを掛けたまま、ボスの向きに注意して組み込んでください。

- プラケットを固定して、ローラーチェーンの張り側でのたわみが5~10mmになるよう、テンションボルトで調節してください。

(ローラーチェーンには、初期伸びがあります。堆肥を2~3台散布した後、「5-2-1 ローラーチェーンのテンション」の説明に基づき再度張りを調節してください。

- カバーを組んで終了です。



4 規制板アタッチメントの組立・装着

同梱の梱包明細に基づき、必要部品が揃っているか確認してください。

部品表に基づいて組み立てしてください。

2 運転を始める前の点検

1 運転前の点検

1. ディスクピータアタッチメントの点検

- (1) アタッチメント駆動用ローラチェーンの張りは適正か。
不具合が見つかった時は「5-2 各部の調整」の説明に基づき張りを調整してください。
- (2) 損傷部品はないか。
不具合が見つかったら部品の補修または交換をしてください。
- (3) 各部の給油は十分か。
不具合が見つかった時は「2-3 給油箇所一覧表」に基づき給油してください。

2. マニュアボディの点検

マニュアボディに付属している取扱説明書の「運転前の点検」に基づきマニュアボディを点検してください。

2 エンジン始動での点検

▲ 注意

- PTOを切らないでエンジンを始動すると、急に作業機が駆動され、周囲にいる人がケガをすることがあります。
PTOを切ってから始動してください。

1. 駆動系統の点検

トラクタのエンジンをかけ、PTOを接続し、低速で回転させた時、駆動部及び回転部に異常音や異常振動がないか。

不具合が見つかった時は、「6-1 不調処置一覧表」に基づき不具合を解消してください。

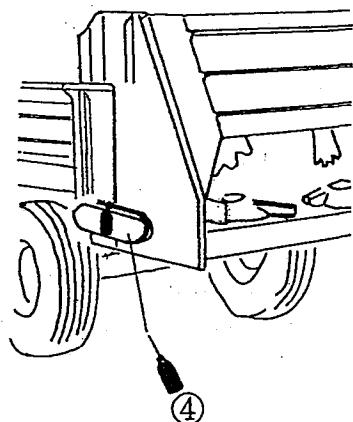
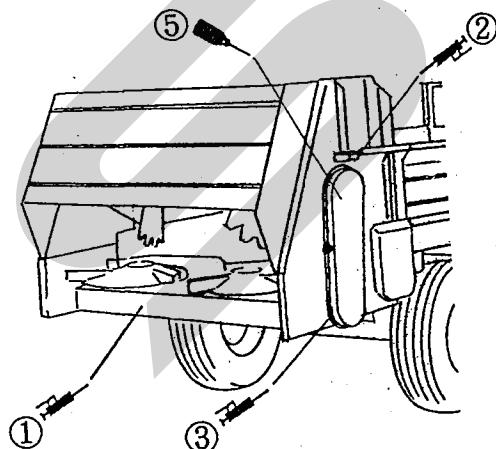
2. マニュアボディの点検

マニュアボディに付属している取扱説明書の「エンジン始動での点検」の説明に基づきマニュアボディを点検してください。

3 給油箇所一覧表

○ 給油・塗布するオイルは清浄なものを使用してください。

○ グリースを給脂する場合、適量とは古いグリースが排出され、新しいグリースが出るまでです。



No.	給油箇所	個数	潤滑油の種類	交換時間	量	備考
1	ギヤ	5	グリース	使用毎	適量	歯面に塗布
2	ビータ軸々受	2	"	"	"	グリースニップル
3	駆動軸々受	5	"	"	"	"
4	ローラーチェーン (マニュアボディへギヤケース)	1	オイル	"	"	塗布
5	ローラーチェーン (ギヤケースへビータ)	1	"	"	"	"

3 作業の仕方

安全を確認して、慎重に作業してください。

1 本アタッチメントの使用目的

本アタッチメントは堆肥や鶏糞の散布作業に使用します。他の用途には使用しないでください。

取扱い上の注意

堆肥や鶏糞以外のものを散布するとマニュアボディおよびアタッチメントが破損する事があります。本アタッチメントの使用目的以外での使用はやめてください。

また、堆肥や鶏糞の中に石・木片・氷塊などが混入していると、機体の破損原因となる事があります。混入しないように日常から管理してください。散布時に混入が見つかったら、取り除いてから作業してください。

2 床コンベヤ変速段と散布量

床コンベヤ変速段と散布量の関係は、下記の通りです。堆肥の性状と希望散布量から、床コンベヤ変速段とトラクタの車速を決め、作業してください。

コンベヤ 速 度	未完熟堆肥 (400kg/m ³)	完熟堆肥 (950kg/m ³)
5 速	0.7t/10a	1.7t/10a
4 速	0.6	1.4
3 速	0.4	1.0
2 速	0.3	0.7
1 速	0.1	0.3

(PTO回転数;540rpm、トラクタ車速;5km/h時)

3 作業要領

▲ 危険

- 運転中又は回転中、ビータに接触すると巻き込まれ、ケガをする事があります。
周囲に人を近づけないでください。
- 堆肥や鶏糞の中に、石や木片、氷塊が混入していると、ビータにより飛散し運転者や周囲の人々がケガをする事があります。
混入しないようにしてください。

- 運転中又は回転中、ビータによる飛散物によりケガをする事があります。
周囲に人を近づけないでください。

▲ 警 告

- 作業機指定のPTO回転数を超えて作業すると、機械の破損により、ケガをする事があります。
指定回転数を守ってください。
- 傾斜地で速度を出しそぎると、暴走事故をまねく事があります。低速で作業してください。
下り作業をする時、坂の途中で変速すると、暴走する原因となります。坂の前で低速に変速して、ゆっくりとおりてください。

▲ 注意

- 運転中又は回転中、カバーを開けると回転物に巻き込まれ、ケガをする事があります。
カバーを開けないでください。

1. PTO回転速度

本作業機の適正PTO回転数は、[540rpm]です。

取扱い上の注意

エンジンが高速回転の状態でPTOクラッチを入れると、作業機に取り付けているシャーボルトが切断される場合があります。
PTOクラッチを入れる時に、エンジン回転を低速で入れてください。

2. 堆肥・鶏糞の積み込み方

取扱い上の注意

堆肥・鶏糞積載時には、スタンドをセットしないでください。破損の原因となります。

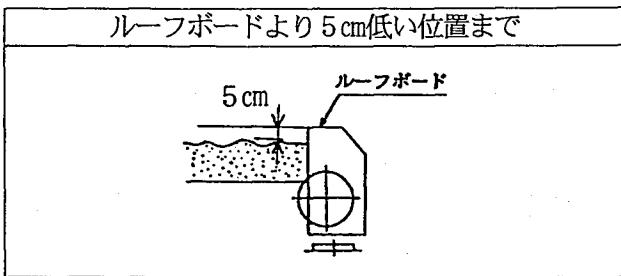
- 荷台の前方から後方に向かって、積み込みしてください。

取扱い上の注意

前方から方向に向かって積み込みすることにより、散布時に堆肥や鶏糞がほぐれやすく、機体に無理がかかりません。

積み込みの順序を、後ろに積んだり、前に積んだりなどのようにバラバラに行うと、無理な力がかかったり、散布ムラの原因になる事があります。

(2) 積み込み高さは、下記を目安として、出来る限り均一にしてください。



取扱い上の注意

積み込み過ぎや不均一な積み込みで散布すると、ビータ部で詰まりが起きたり、散布ムラの原因になることがあります。

また機体の破損原因になることがあります。
適正な積み込み高さにして、さらに均一に積み込んで作業することにより、トラブルのない順調な作業ができます。

下表の最大積載量を守ってください。

型 式	最大積載量
TMS1160	
TMS1170 + ADW1810	1,100kg
TMS1560	
TMS1570 + ADW1810	1,500kg
TMS1860	
TMS1870 + ADW1810	1,800kg
TMS2060	
TMS2070 + ADW1810	2,000kg

3. 散布作業の仕方

- (1) 床コンベヤ変速を希望する散布量から選択して、セットしてください。
- (2) 希望する散布量から、トラクタ車速に見合った変速位置にセットしてください。
- (3) 走行クラッチを切った状態で、エンジンを低速で回転させ、PTOクラッチを入れてください。
- (4) PTO回転数を本作業機の適正回転数(540 rpm)にセットします。
- (5) ビータから堆肥が散布され始めたら、走行クラッチを接続し、散布作業をはじめてください。

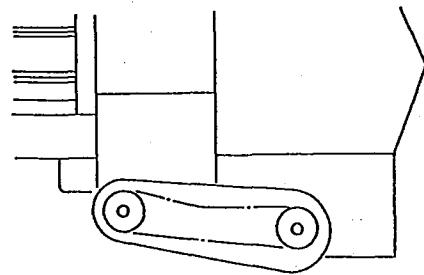
4. 散布巾の調節

スプロケット15T、17Tを組み替えることにより散布巾を2段階に調節できます。

※工場からはAの状態でセットされています。

組合せ	散布巾の目安
A	8~12m
B	6~8m

(散布巾は堆肥の種類、状態によって異なります)



A	17T	15T
B	15T	17T

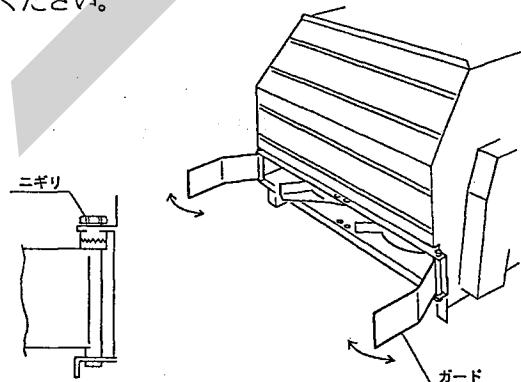
5. 規制板アタッチメント

(1) 巾規制散布

堆肥の散布巾を規制し、堆肥がハウスのポールや果樹園の枝に飛散するのを防ぎます。

巾規制散布で使用する場合は、ガードを図の位置に取り付けてください。ニギリを緩めると、ガードの角度を調整できます。散布巾は堆肥の種類や水分によって異なります。

希望の散布巾になる位置で六角ボルトを締めてガードを固定してください。ガードを使用しない作業では、ガードを外側に広げた状態で固定してください。



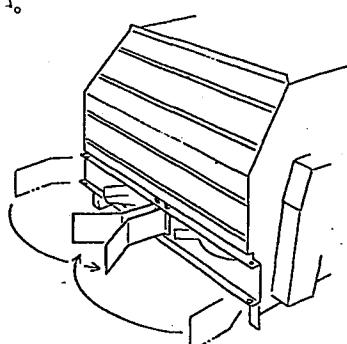
取扱い上の注意

石等の異物混じりの堆肥では、ガードを使用しないでください。

(2) 両サイド散布

堆肥の機体中央部の散布を規制し、果樹園等で通路に飛散するのを防ぎます。

両サイド散布で使用する場合は、ガードを図の位置に取り付けてください。希望の条間になる位置で、ニギリを締めてガードを固定してください。



4 作業が終わったら

長持ちさせるために、手入れは必ずしましょう。
マニュアボディについては、マニュアボディに付属
している取扱説明書の「作業が終わったら」の説明に
基づき手入れを行ってください。

▲ 危険

- 運転中又は回転中、ピータに接触すると、巻き込まれ、ケガをする事があります。
ピータを回転させながらの荷台内の清掃は危険です。やめてください。

▲ 注意

- 動力を切らずに、回転部・可動部の付着物の除去作業などを行うと、機械に巻き込まれてケガをする事があります。
PTOを切り、エンジンをとめ、回転部や可動部がとまっている事を確かめて行ってください。

1. 作業後の手入れ

1. 機械に付着していたり残っている堆肥等は、ほ場の中できれいに取り除いてください。
特に、回転部に巻き付いたワラやトワインなどは、シール部品、軸受部品などを傷つけますので、完全に取り除いてください。
2. ボルト、ナット、ピン類の緩み、脱落がないか。
又、破損部品がないか確認してください。
異常があれば、ボルトの増締め、部品の交換をしてください。
3. 各部の給油箇所は、「2-3 純正箇所一覧表」に基づき給油してください。

2 長期格納する時

1. 機体各部の清掃をしてください。
2. 摩耗した部品、破損した部品は、交換してください。
3. 「2-3 純正箇所一覧表」に基づき、油脂を補給してください。
また、回転、回動支点および摺動部には注油してください。
4. 塗装損傷部は、補修塗装または油を塗布し、さびの発生を防いでください。
5. 格納は風通しのよい屋内に保管してください。

5 点検と整備について

調子よく作業するために、定期的に行いましょう。
機械の整備不良による事故などを未然に防ぐために、「5-1 点検整備一覧表」に基づき、各部の点検・整備を行い、機械を最良の状態で、安心して作業が行えるようにしてください。

▲ 注意

- PTOおよびエンジンをとめずに作業すると、第三者の不注意により、不意に作業機が駆動され、思わぬ事故を起こす事があります。
PTOを切り、エンジンをとめ、回転部や可動部がとまっている事を確かめて行ってください。
- 点検整備のために外したカバー類を取り付けずに作業すると、回転部や可動部に巻き込まれ、ケガをする事があります。
元通りに取り付けてください。

マニュアボディについては、マニュアボディに付属している取扱説明書の「点検と整備」の説明に基づきマニュアボディを点検整備してください。

1 点検整備一覧表

時 間	チェック項目	処 置
使 用 毎	機械の清掃 ビータブレードの破損 各部の損傷、部品脱落 ローラチェーンのテンション 各部のボルト・ナットのゆるみ 各部の給油	早めの部品交換 部品交換、取付 「5-2 各部の調整」に基づき調整 増し締め 「2-3 給油箇所一覧表」に基づき給油
シーズン終了後	機械の清掃 各部の損傷、部品脱落 ローラチェーンの伸び 各部のボルト・ナットのゆるみ 各部の給油 塗装損傷部	部品交換、取付 早めの部品交換 全ボルト・ナットの増し締め 「2-3 給油箇所一覧表」に基づき給油 塗装または油塗布

2 各部の調整

1. ローラチェーンのテンション
 - (1) ローラチェーンが入っているカバーを開けてください。
 - (2) テンションボルトのロックナットをゆるめてください。
 - (3) ローラチェーンの張り側でのたわみが5~10mmになるようテンションボルトを回わし、チェーンを張ってください。

- (4) ロックナットを締めてください。
- (5) カバーを元通り、取り付けてください。

6 不調時の対応

エンジンをとめてから処置してください。

トラブルが発生したら「6-1 不調処置一覧表」に基づき処置してください。

マニュアボディにトラブルが生じたら付属している取扱説明書の「不調時の対応」の説明に基づき処置してください。

▲ 注意

- PTOおよびエンジンをとめずに作業すると、第三者の不注意により、不意に作業機が駆動され、思わぬ事故を起こす事があります。
PTOを切り、エンジンをとめ、回転部や可動部がとまっている事を確かめて行ってください。
- 不調処置のために外したカバー類を取り付けずに作業すると、回転部や可動部に巻き込まれ、ケガをする事があります。
元通りに取り付けてください。

1 不調処置一覧表

症 状	原 因	処 置
ビータが回転しない	ローラチェーンが外れている	ローラチェーンをかけ直す
	ローラチェーンの張りがゆるい	「5-2 各部の調整」に基づき張り直す

原因や処置の仕方がわからない場合は下記事項とともに購入先にご相談ください。

- 製 品 名
- 部品供給型式（型式）
- 製 品 番 号
- 故 障 内 容（できるだけ詳しく）

7 部品表

部品のご注文について

1. 部品ご注文の際は、下記項目をご連絡ください。

- ① 製品名
- ② 部品供給型式（型式）
- ③ 部品名称（部品表を参照してください。）
- ④ 部品番号（部品表を参照してください。）
- ⑤ 個数（部品表を参照してください。）

※ 部品供給型式は取扱説明書・部品表表紙および本体に貼付のネームプレートに表示しています。

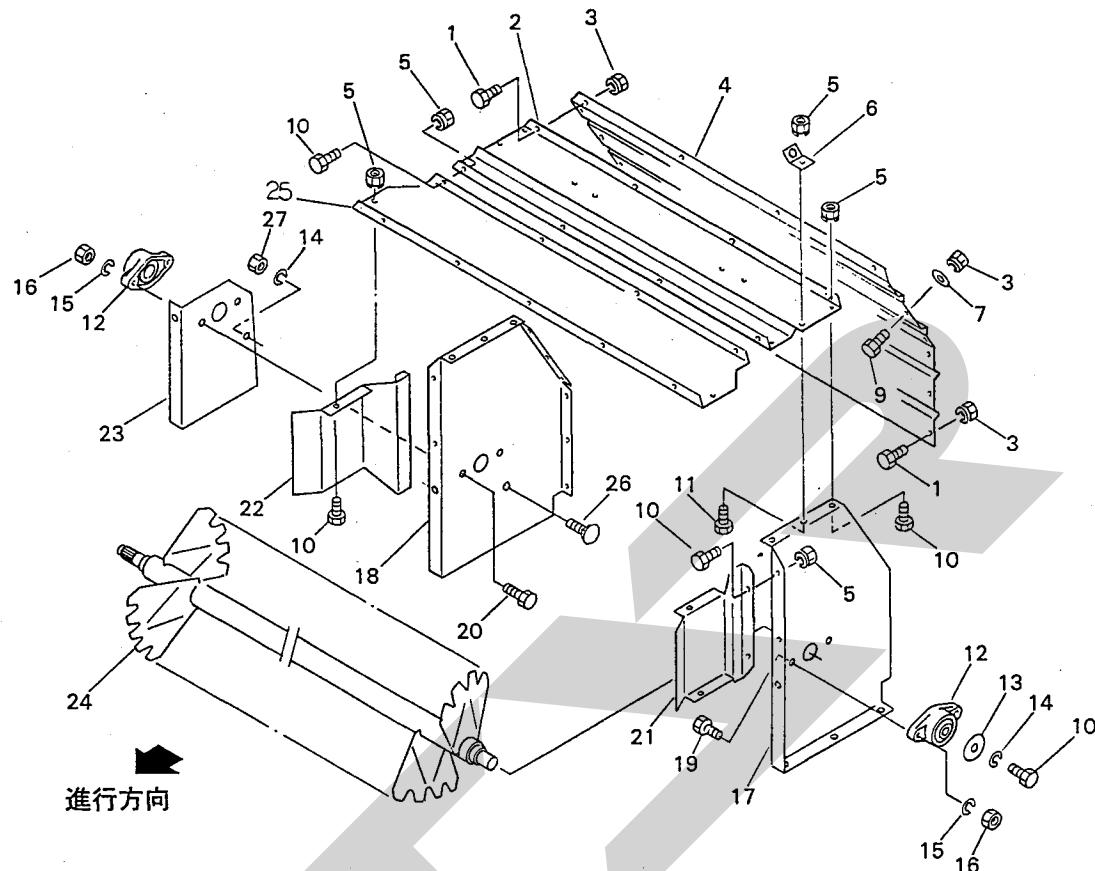
2. 個数欄の 、 は、以下のことを表しております。

- … シムなど、組み込まれている個数が製品個々により異なる部品
- … アッセイ品に含まれる部品で単品では供給しない部品

補修部品の供給年限について

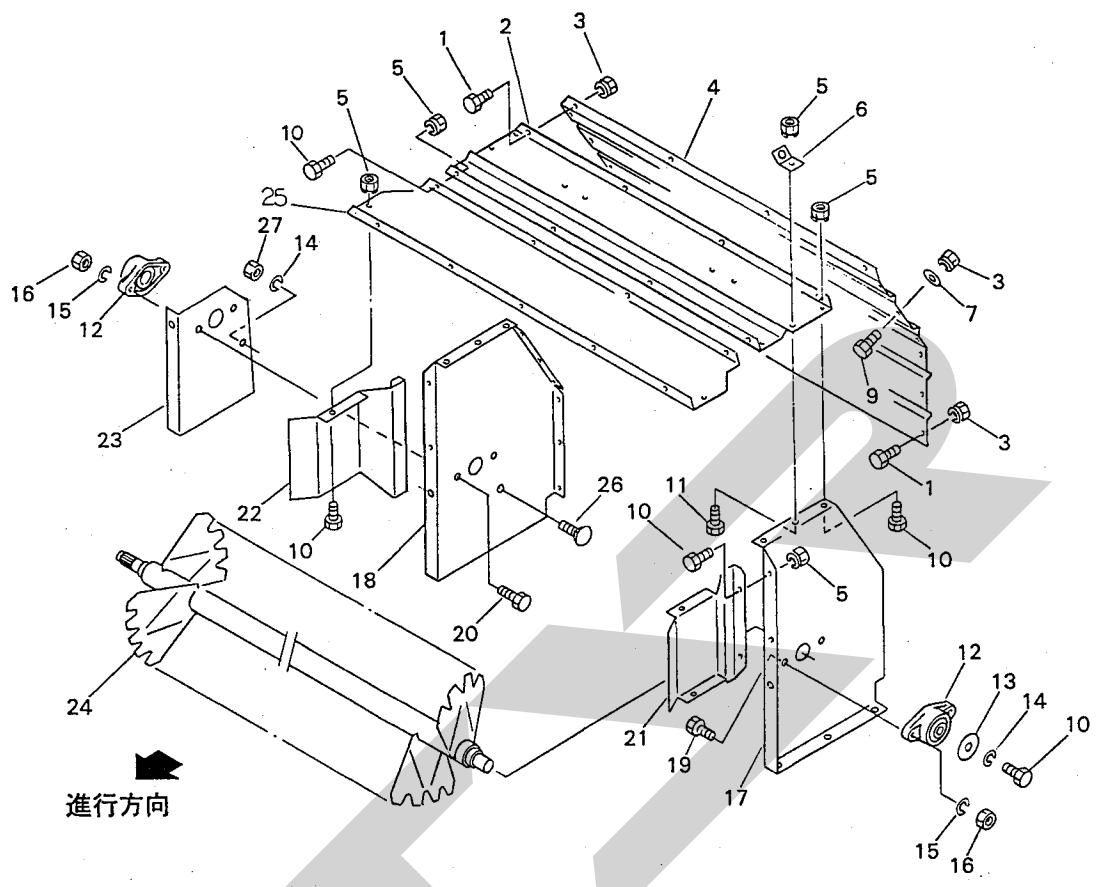
この製品の補修用部品の供給年限（期間）は、製造打ち切り後9年です。ただし、供給年限内であっても、特殊部品については納期などをご相談させていただく場合もあります。

補修部品の供給は原則的には上記の供給年限で終了しますが、供給年限経過後であっても、部品供給のご要請があった場合は納期および価格についてご相談させていただきます。

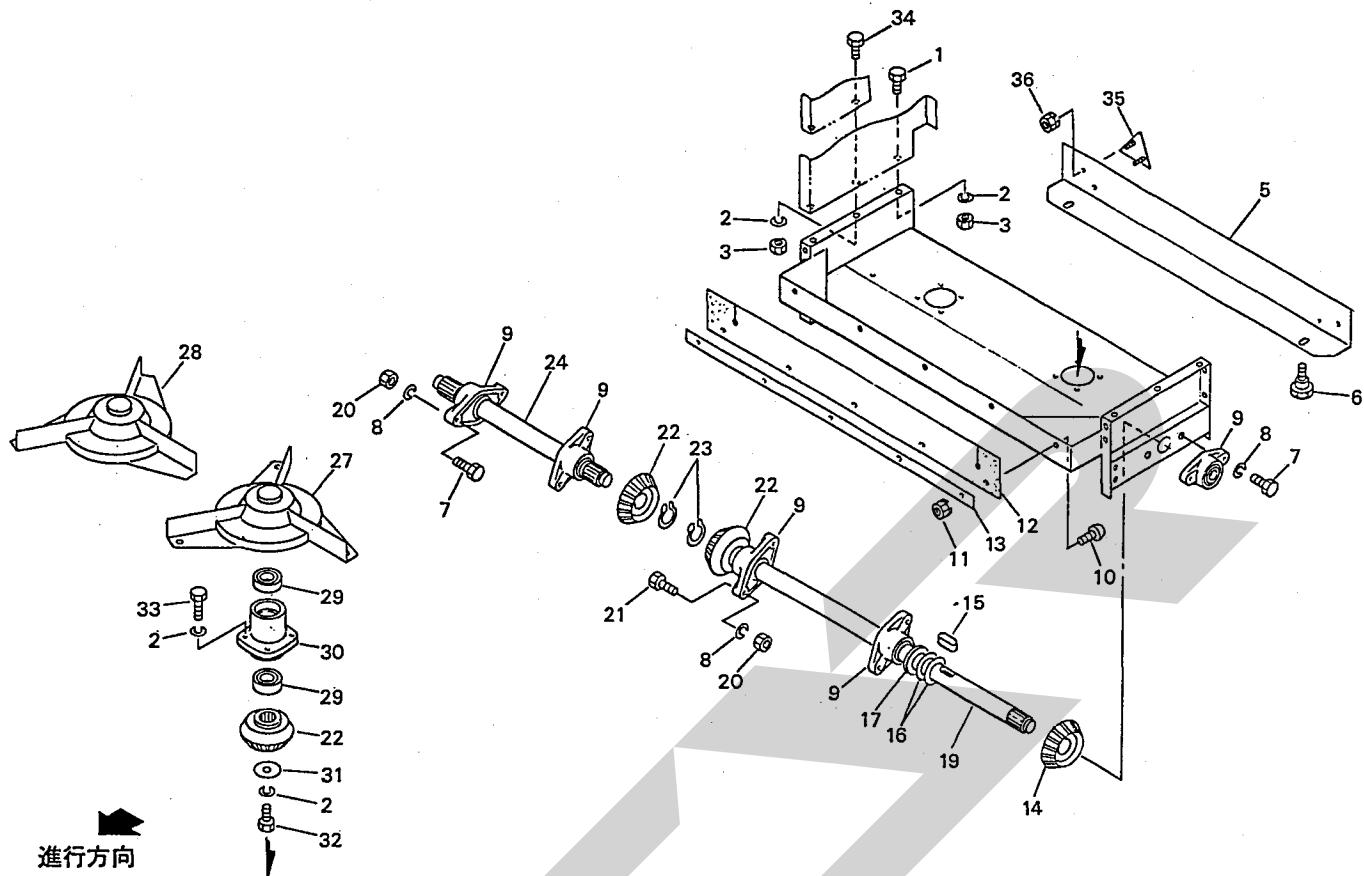


13194

販番号	部品番号	部品名称	個数	備考
1	BSZ08016	コガタボルト 7 M8×16	10	
2	1215600000	アップボード	1	
3	NSP08	コガタスプリングナット 4 M8	16	
4	1215900000	リヤボード	1	
5	NSP10	コガタスパックナット 4 M10	18	
6	067426100M	プラケット	2	
7	044097200M	ワッシャ 8	6	
9	BSZ08020	コガタボルト 7 M8×20	6	
10	BSZ10020	コガタボルト 7 M10×20	17	
11	BSZ10025	コガタボルト 7 M10×25	2	
12	JUCFL207D1	ペアリングユニット UCFL207D1	2	
13	061737000M	ワッシャ；11×3.2	1	
14	WSA10	バネザガネ 3ゴウ M10	2	
15	WSA14	バネザガネ 3ゴウ M14	4	
16	NZ14	ナット 8 2シュー M14	4	
17	1215840000	サイドプレート；L	1	
18	1215850000	サイドプレート；R	1	
19	BZ14035	ボルト 8.8 M14×35	2	
20	BZ14040	ボルト 8.8 M14×40	2	
21	1215610000	サイドボード；L	1	
22	1215620000	サイドボード；R	1	
23	1215860003	サイドプレートCP	1	
24	1215790004	ビータCP	1	
25	1231170000	ルーフボード	1	

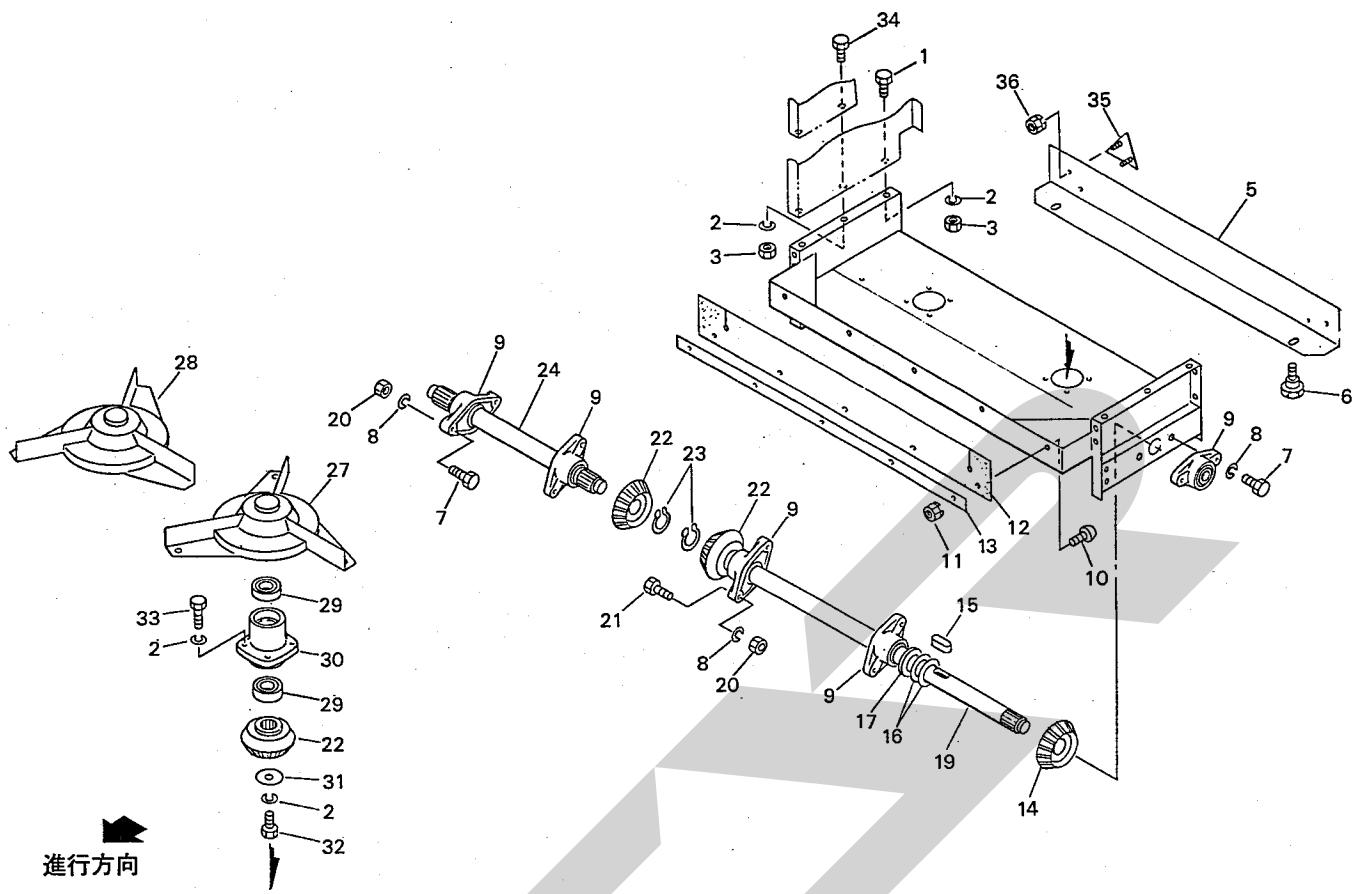


部品番号	部品番号	部品名	個数	備考
26	000450000M	カクネボルト 8.8 M10×20	1	
27	NSZ10	コガタナット 8 2シュ M10	1	



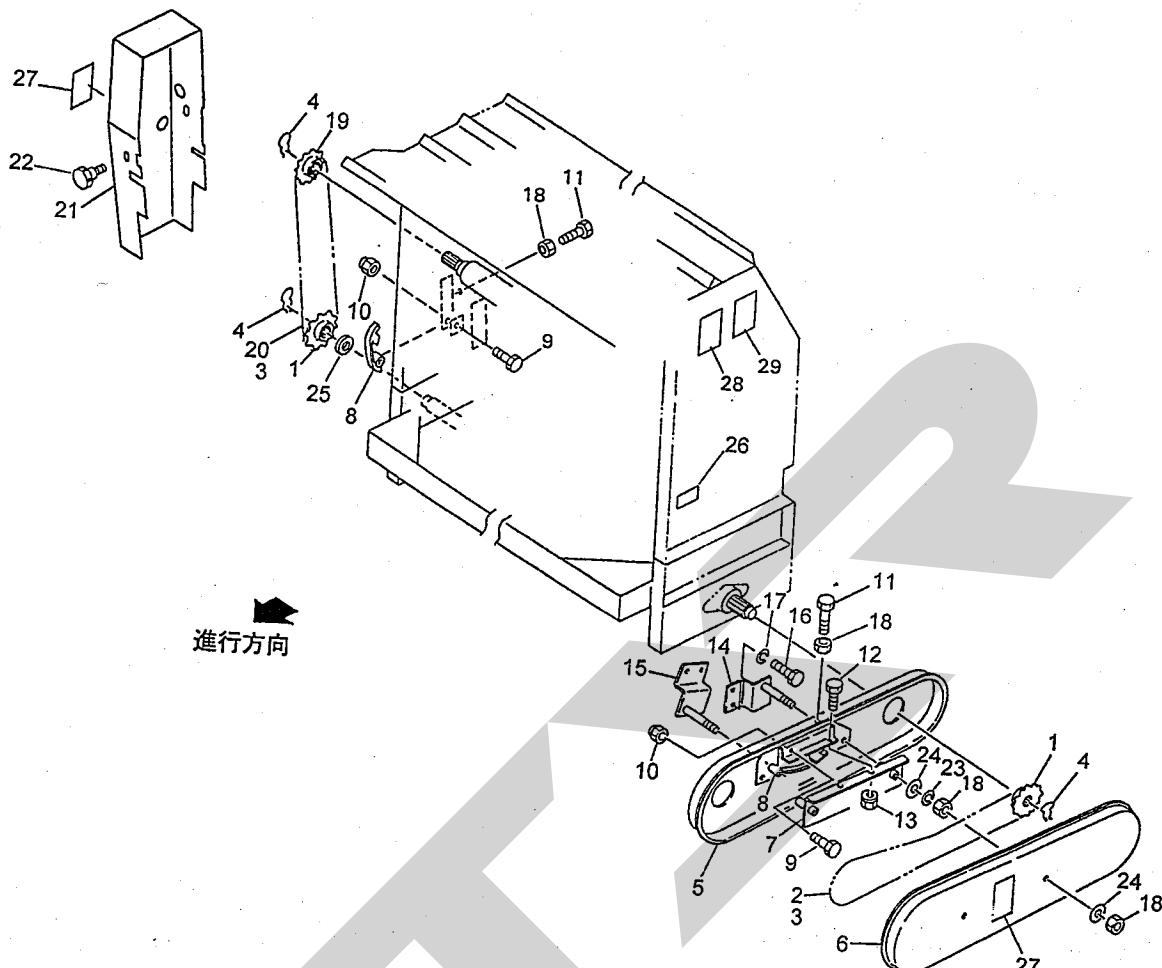
13195

見番号	部品番号	部品名称	個数	備考
1	BSZ10020	コガタボルト 7 M10×20	4	
2	WSA10	バネザガネ 3ゴウ M10	16	
3	NSZ10	コガタナット 8 2シュ M10	6	
5	1215630000	カバー	1	
6	1181490000	ニギリ ; M8	2	
7	BZ14035	ボルト 8.8 M14×35	4	
8	WSA14	バネザガネ 3ゴウ M14	10	
9	JUCFL206D1	ベアリングユニット UCFL206D1	5	
10	CP08020	+ナベコネジ M8×20	5	
11	NSP08	コガタスプリングナット 4 M8	5	
12	1214310000	フロントプレート	1	
13	0930070003	プレート	1	
14	0739802002	マイタギヤ ; 18T	1	
15	0622830000	ヘイコウキー ; トクシュ	1	
16	0599871000	シム	—	
17	0599861000	シム	—	
18				
19	0928590002	シャフト	1	
20	NZ14	ナット 8 2シュ M14	8	
21	BZ14040	ボルト 8.8 M14×40	6	
22	0739791002	マイタギヤ ; 18T	4	
23	DC030	Cガタトメワ ジク 30	2	
24	1216000002	シャフト	1	



13195

部品番号	部品名称	個数	備考
27	ディスク CP ; L	1	
28	ディスク CP ; R	1	
29	J6206LLU	4	
30	キヤップ	2	
31	ワッシャ ; 11×3.2	2	
32	ボルト ; M10×20 8T	2	
33	コガタボルト 7 M10×35	8	
34	コガタボルト 7 M10×25	2	
35	ハシシャキ ; R-150 TR	2	
36	スプリングナット M5	2	



13196-1

品番	部品番号	部品名称	個数	備考
1	0777750003	スプロケット；60×15T	2	
2	LA60066	ローラチェーン 60×66L	1	
3	AA060	ツギテ 60	2	
4	056984000M	クリップ	3	
5	0928601003	カバーCP	1	
6	0603573003	カバー；I	1	
7	0928610003	ブラケットCP	1	
8	0605964006	テンショナ	2	
9	BSZ10060	コガタボルト 7 M10×60	2	
10	NNF10	フランジナイロンナット M10	2	
11	BXI12100	ボルト 10.9 ゼン M12×100	2	
12	BSZ08020	コガタボルト 7 M8×20	2	
13	NSP08	コガタスプリングナット 4 M8	2	
14	121529000M	ブラケットCP	1	
15	093017000M	ブラケットCP	1	
16	BSZ10025	コガタボルト 7 M10×25	2	
17	WSA10	バネザガネ 3ゴウ M12	2	
18	NZ12	ナット 8 2シュー M12	6	
19	0930150003	スプロケット；#60×19T	1	
20	LA60072	ローラチェーン 60×72L	1	
21	1216060003	カバーCP	1	
22	1181490000	ニギリ；M8	2	
23	WSA12	バネザガネ 3ゴウ M12	2	
24	WRA12	ヒラザガネ M12	4	
25	085238100M	カラー；32.9×42.7×6.5	1	

本 社 066-8555 千歳市上長都1061番地2
TEL 0123-26-1123
FAX 0123-26-2412

千歳営業所 066-8555 千歳市上長都1061番地2
TEL 0123-22-5131
FAX 0123-26-2035

旭川営業所 070-8004 旭川市神楽4条9丁目3番35号
TEL 0166-61-6131
FAX 0166-62-8985

豊富営業所 098-4100 天塩郡豊富町字上サロベツ1191番地
TEL 0162-82-1932
FAX 0162-82-1696

帯広営業所 080-2462 帯広市西22条北1丁目12番地
TEL 0155-37-3080
FAX 0155-37-5187

北見営業所 090-0001 北見市小泉302
TEL 0157-24-3880
FAX 0157-61-1344

中標津営業所 086-1152 標津郡中標津町北町2丁目16番2
TEL 01537-2-2624
FAX 01537-3-2540

花巻営業所 025-0312 岩手県花巻市二枚橋第三地割333-1
TEL 0198-26-5741
FAX 0198-26-5746

仙台営業所 985-0845 宮城県多賀城市町前2丁目4番27号
TEL 022-367-4573
FAX 022-367-4846

小山営業所 323-0158 栃木県小山市梁2512-1
TEL 0285-49-1500
FAX 0285-49-1560

名古屋営業所 480-0102 愛知県丹羽郡扶桑町大字高雄字南屋敷191
TEL 0587-93-6888
FAX 0587-93-5416

松本出張所 399-0033 長野県松本市大字笹賀5824-5
TEL 0263-26-5731
FAX 0263-26-5761

岡山営業所 700-0973 岡山県岡山市下中野704-103
TEL 086-243-1147
FAX 086-243-1269

熊本営業所 862-0939 熊本県熊本市長嶺南1丁目2番1号
TEL 096-381-7222
FAX 096-384-3525

都城営業所 885-0004 宮崎県都城市都北町3537-1
TEL 0986-38-1045
FAX 0986-38-4644